

施策番号 4-2	施 策 名	輝くまちづくりプロジェクト		基本的方向	地域資源を活用しひとが育ち・集う魅力的なまちをつくる		
				基本目標	ひとが集い、誰もが安心して暮らすことができる魅力的なまちづくり		
	主 管 課	生涯学習課		課長名	江崎 健一	内 線	451
	施策関係課	教育推進課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
人々の創造性や感性を育み心豊かに暮らすための文化振興や健康増進や皆スポーツを目指したスポーツしやすい環境づくりを進めるとともに、これらの地域資源を活用した人材育成を進める		町民 町民で他市町村に通う生徒		学びの基礎づくり 生涯を通じての生きがいづくり 共助社会の絆づくり				生涯にわたり、「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学び、心豊かで輝く人を育む地域づくり	
重要業績評価指標 (KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度(目標)	
① ジモト大学への参加者数	実績数(年間)	人	0	4.0	19.0	57.0	184.0	10.0	
② 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	42.2	77.4	73.0	76.0	70.1	45.0	
③ スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	92.2	83.8	83.5	82.1	79.8	95.0	
評価指標 設定の考え方	①ジモト大学への参加者数10人を目指す。 ②前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 ③住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。								

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算	2023年度決算
施策事業費(千円)	826,936	767,680	532,335	2,461,066
人工数(業務量)	3.9954	4.0689	5.1598	

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度 の成果評価 (前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した	想定される理由	「ジモト大学」事業において特に高校生を中心に活発な活動を行うことにより、芽室町の地域活性と今後を担う人材の育成に寄与している。コミュニティスクールは学校と地域をつなぐものとして、拡大・拡充している。R5.7月より温水プール・トレーニングセンターを開設し、地域住民の健康増進に寄与することになった。
	<input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった		
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した		
②2024年度 の目標値達成 見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	ジモト大学事業では、芽室高校の生徒や中学生の参加が新たに見込まれるなど、更なる拡充が見込まれる。コミュニティスクール事業において、学校と地域ボランティアの関りが増えるなど学校のみならず、関わったボランティアのやりがい創出にもつながっている。コロナ禍も落ち着き、公民館事業の充実や改築された社会体育施設の活用等、地域住民の文化面や健康増進に資する事業の推進が見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
	コミュニティスクール運営事業		
	トレーニングセンター維持管理事業		
③事務事業全体の振り返り(総括)	芽室ジモト大学事業については、白樺学園を中心に、中学生にも徐々に浸透してきているところである。芽室高校にも取組の動きが見られ、郷土愛の醸成や自分自身の今後の方向性を考えさせるなど、更なる効果が期待できる。 コミュニティ・スクールにおいては、生涯学習アドバイザー、CSコーディネーターの積極的な活動により、多くの学校支援ボランティアと協力しながら、児童生徒の育みを支えるとともに、新たな地域コミュニティの創出にもつながった。 R5.7月に温水プール・トレーニング施設を改築し、新たにオープンしたことに伴い、町内外を問わず利用者の増加につながった。コロナ禍も落ち着き、公民館事業等の推進をはかる等、文化活動等の振興をはかったところである。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)							
担当課 評価	ジモト大学、コミュニティスクールについては、徐々に浸透がはかられ成果が出てきている。次年度に向け、更に充実、活性化はかっていく。 文化・スポーツの振興については、コロナ禍もあけ住民活動の活発化に合わせた事業展開を更に進めていくものである。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した  
D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芽室ジモト大学事業 →白樺学園を中心に実施してきたところであるが、芽室高校や他校を巻き込んだ事業展開が見込まれる等、更なる充実が見込まれる。 探究心、郷土愛の醸成、地域との関りやコミュニケーション能力の向上に期待できる。</li> <li>・コミュニティ・スクール →学校支援ボランティアの介入により、教員の負担軽減やボランティア自身の経験や生きがいの創出など、双方に大きなメリットがある。 引き続き、地域と学校をつなぐコミュニティスクールの更なる充実をめぐる</li> <li>・文化・スポーツの振興 →公民館活動の推進、改築した社会体育施設等を中心にスポーツ活動の推進を行う</li> </ul>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芽室ジモト大学 →中高生の居場所づくりが必要でないか⇒学校・役場等で活動しているが、居場所での問題は出ていない。</li> <li>・コミュニティ・スクール →事業の周知方法の工夫⇒CSコーディネーターによるきめ細やかな対応により、ボランティアの確保や認知度を上げる。</li> <li>・文化・スポーツの振興 →ゲートボールの普及振興⇒関係機関と連携し、町で定めた「挑戦の流儀」を推進、ミドル年齢層への普及をはかる。</li> </ul>

#### 5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・芽室ジモト大学 →芽室高校生への取り組み支援。中高生が主体となる様々なイベント実施の支援。 →地域との関りを更に増やし、ジモト大学事業に対する住民の認知度を上げる。</li> <li>・コミュニティスクール →学校支援ボランティアの更なる拡充 ⇒ 地域コミュニティの醸成、ボランティア自身のいきがい、やりがいにつなげる。 →学校運営協議会、教員、ボランティア、保護者などの交流、理解の浸透をはかる。</li> <li>・文化・スポーツ振興 →スポーツ、文化・芸術活動への支援、「一流を見て、聴いて、学ぶ」の推進。 社会体育施設の整備、ゲートボール普及推進(R7挑戦の流儀の更新)。</li> </ul>
---

#### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した					

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	特になし	A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した					